

二年目、やっと流れが  
少しづつわかかってきたようです。

お伺いしようと思っても、思うように時間が取れず、近況報告のつもりで書き始めたビー・エッチ・エフ通信も三号になりました。

大変な作業だけど、書いている時はなんとなく、皆さんとお話している気持ちになっています。もっと力と時間とアイデアがあればと、いつも思っているのですが、これだけは仕方ないですね。

それにしても、届いたらほとんどが肩籠へ直行だと思っていたのですが、以外と多くの方に呼んで頂き、励まして頂いたり、大変嬉しく、有り難く思っております。

拙い文章ですが、「継続は力なり」。なんとか続けていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いします。

## 秋冬物PART II

七月十三日(火)～十五(木)と翌週

二十二(火)～二十四(木)

小社にて開催します



今回で通算四回目の展示会、我ながら少しづつだけど、確実に成長しているのではないかと自負しています。

段取りもかなり良くなってきました。経験の貴古をますます感じていきます。

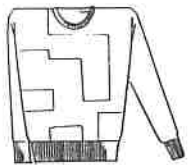
夏物バーゲンなどでお忙しいと思いますが、是非御来社をお待ちしております。

従来のシンプル一辺倒に柄もの、デザイン物を思い切って増やしました。

### 秋物展 best-3

#### 9色展開

オフ、淡グリーン、ブルー、ピンク、ベージュ、パープル、チャコール、濃グリーン、クロ



NO. 1101 毛100%  
上代¥14,800

10ゲージ 天竺(表裏)タスマニアウールの光沢と高級感がうまく調和、着用頻度のたかいさりげなさで価格が魅力。当社受注新記録。ロング丈1117も

#### 7色展開

オフ、グリーン、ブルー、レッド、パープル、コン、クロ



NO. 1103 毛100%  
上代¥19,800

#### 7ゲージ・波柄

ガーター編みの襟と前立てがポイント。今までにない可愛らしさが発揮されています。

#### 5色展開

オフ、イエロー、ピンク、ベージュ、グレイ、



NO. 1106 シルク75%毛25%  
上代¥29,800

#### 5ゲージ・畦(裏)

シルクウールの高級感と柔らかい肌触り、淡い色目のハーモニーが好評でした。3万円を切ったのも成功要因。

次点  
アンゴラのTシャツシリーズも大健闘



今までよりかなり楽しさとカジュアル性がプラス出来たのではないかと思っています。

素材材のテーマは軽く、やわらかいハイ

タッチです。着ていてホットする肌触りのソフトラムを中心に、空糸、ネップヤーン、等です。素材には自信あります。

カラーは顔映りの良い、明るいロマンチックな色目を中心に行きました。派手な色ではなくて、いい色を表現する事を心掛けていきたいと思えます。

シルエットはロング丈が定着しているようですが、ロングはもちろんベースであるノーマル丈も大事にしていきたい。ロングスカートやパンツにコーディネートしやすい、ショート丈のバリエーションも欠かせないと思っています。

価格は、商品に比べての格安感はずっと続けるよう努力していきます。今回もかなり実現していると思うのですが。

### 南青山界隈

この界隈で案外少ないのが食べ物屋さん。毎日のことなので結構苦勞します。でもラーメン屋さんはちょっと自信があります。この頃はラーメンブームとやらで、テレビや雑誌でよく紹介されているようですが、我が南青山で一押しなのが、だるままや

おやじの声のデカイのと、ほとんど外国人で、テイネイだけちょっと感覚の違うサービスを気にしなければ味はグッド。

汁そば類は麺と具が別々に出てきます。適量ずつトッピングしながら食べる角煮そば、タカナそば、夏場の冷やしそば等。ケッコウくせになります。他のメニューもナカナカのもので。

昼休みと夕方は必ず並んでいるので一時過ぎがベター。とおりがかって、タイミングが合ったら一度試しに食べてみてください。

もちろん、だるまやから頼まれたわけでもないし、声のデカイおやじとも口を聞いたわけでもないで、私から薦められたと言っても全く効果はありません。



# 来社全店発注の タスマニアウール

秋冬物PART I

今回の断トツの売れ筋はbest 3に紹介しました。タスマニアウールシリーズでした。普通丈の丸首とスタンドネック、それに脇スリットのロング丈の三型展開です。このシリーズはまさに当社の代表選手になってくれそうです。

基本的には無地ですが、表裏の編み地で表面変化を演出したことで、光沢のコントラストが出来、ゲンと高級感も増したようです。

ほとんどの方が一九、八〇〇円ぐらいと判断してくれ、エッー四、八〇〇円という反応は、私どもにとってはヤッターです。このシリーズこそ売り筋として育てていきたいと思っております。

肌触りがよく、軽く、適度な光沢のある糸ということで選んでもらったのが、この2/48(ヨシパチ双糸)タスマニアウールでした。ただ難点は値段が高いこと。普通の梳毛の二倍近くするのです。どうやって一万五千元を切るか、クローしました。手をかけすぎず、かけなさすぎない。安っぽい色を付けない。それに工場さんになり勉強してもらった。お陰様でこれらがクリア出来たのが今回の結果に繋がったのではないかと思います。

タスマニアウールは、最高級で有名なメリノウールが原料です。そのメリノウールをピリング(糸玉)が出来にくいように特殊加工した、糸のブランド名です。

欧米ではメリノウール60%ウール40%等と一般には普通のウールと区別して呼ばれます。羊毛に対しての伝統と厳しさを感じます。

フランスのワインでいえば、さしずめシャトータスマニアウールといったところでしょう。

差別化の時代の中で、モヘアとかアンゴラ等動物の違いもなることながら、羊毛の中でもこだわりの持った選択が求められる時代にはいつているようにすね。

## ヒットを秘めた アンゴラTシャツ

タメタメと言われ続けたアンゴラ。アンゴラといえば売れた時代から急転直下、売り過ぎて全然売れなくなった後の反発は、極端から極端へでした。

誰もやらないのなら隙間があるはず。そこで今回、Tシャツとして作り直しました。アンゴラのセーターとしてではなく、Tシャツです。

Tシャツとしてのアンゴラは贅沢で珍しいと思えます。(丸首プルオーバー二、八〇〇円)反応は上々、請う御期待です。

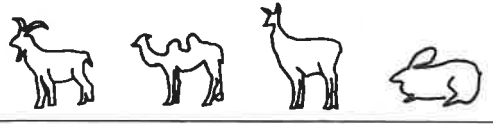
タメタメと言われ続けたアンゴラ。アンゴラといえば売れた時代から急転直下、売り過ぎて全然売れなくなった後の反発は、極端から極端へでした。

### ウール100%とはいふけれど

アンゴラは兎、カシミアは山羊、モヘアも山羊。みんなウール

ウールと一口に片付けがちですが、羊だけがウールではありません。動物の毛はすべてウールなんです。合成繊維や植物性繊維、シルク等と区別するために表示する呼び方です。例えば羊20%カシミア80%の場合も正式な表示はウール(毛)100%です。こんなとき、よくカシミア80%と呼んでいますが、正式には毛100%だけなのです。だから表示したいときは別に毛の中の割合として(カシミア80%)などと非公式に表示しているのです。

キャメルはもちろんラクダ、アルパカはリャマの仲間。で、藪藪大統領のペルーが産地、アルパカを着てくれる人が増えるペルーの人が喜びます。



### トップ染めのトップは 最初(トップ)に染めるから



ニットを染めるには、ワタで染めたり、糸で染めたり、製品で染めたり。トップ染めはワタの時点で染めることです。トップで染めるとワタと染まっていないワタを混ぜ合わせ紡績して糸にすると微妙なメランジ効果のある糸ができる。トップグレイなどはこの染め方の代表。でも最初に染めるので、最もリスクのある染め方です。

### 茶のみ話

ニット屋になる前は海外旅行の添乗員でした。チャンスがあったら是非お薦め



### スイス グリーンテルバルド

最もスイスらしい村

パリ・ミラノ十日間とかパリ八日間などというツアーをよくみかけます。短期間で安いという気楽さから大変人気があるようです。短い旅だから仕事に買い物に忙しく飛び回りますね。でも土日のパリやミラノは、会社はもうお休みもほとんどが休み。そこでは非お薦めなのがスイス。週末の二三日をスイスで過ごす週末を是非お薦めします。

フランスのバリからスイスまでは約4時間。朝早くにバリを出たら、昼過ぎにはインターラーケンと言う美しい湖の畔に着きます。ここからコクトと登山電車で約四十分、今日の目的地グリーンテルバルドはすぐです。

スイスらしい所は具体的に何処へ行けばいいんですか?とよく聞かれるのですが、私は日本人が最もスイスらしいと思うイメージに近いのが、ここグリーンテルバルドではないかと思っています。

広々とした緑の牧場が広がり、家々の庭やベランダにはきれいな花々が植えられ、万年雪を頂いたアルプスの山々が望めます。

俗っぽい言い方しかできませんが、本当に絵のように美しいとはこの事かと思えます。

スイスといってもジュネーブやチューリッヒに泊まるのは、あまりにももったいなさすぎます。本当のスイスの良さは、牛たちのカウベルの音でめざまめ、朝の牧場を散歩する事です。本当に気持ち

いいですよ。それも牧場のなかにある小さなホテルなら最高です。

朝食は麦の入った固めのパンに牧場で取れたてのミルク、自家製のアップルジャムなどが登場するはず。

天気がよくったら、気楽にハイキングしてみてください、アイガーやユングフラウなどのアルプスの山々が目の前に広がり、今まで写真や絵葉書やパンフレットなどの世界が現実目に見え広がるはず。

時間があれば三、四五メートルのユングフラウヨッホへ登って見るのもよし。もっといいのはお花畑の中で昼寝すること。もし一時間でもうとうと出来たら、一生忘れられない屋敷となるでしょう。(日焼けに注意)

インターラーケンへもどり、ここからミラノまでは有名なシンプロントンネル(青函トンネルができるまでは世界一の長さ)をぐり約3時間。ヨーロッパは思っている以上に狭いのです。

\*このコースは好きで、何回も通ったコースですが、防犯の度に命を洗濯してくれます。春から秋までの間なら、何時行っても感動すること受けあいです。



冬場はこの牧場すべてがスキー場になります。